

はねっと 2

仙台市民活動サポートセンター通信 ぱれっと

「ぱれっと」には、仙台市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。



「協働」地域の課題を解決するために、様々な立場の人たちが
コラボレーションする取り組みをご紹介します

幅広い世代が協力し合い もっと住みたくなるまちへ

20~30代の若者にも楽しみながら地域の防災活動へ
加わってもらうために生まれた、新たな取り組みをご紹介します。

イルミネーションと音楽で誘う「夜の防災教室」

仙台市太白区の八木山地区では2021年6月から「八木山イルミネーション・アート・プロジェクト」と題し、様々なイルミネーションイベントが催されています。住民の地域参画や世代間交流を目的に、ほぼ毎月開催。公園や学校、商店街などの場所で、地域の人たちによるダンスや音楽ライブが行われます(主催:八木山地区まちづくり研究会)。この一環として、10月23日に八木山テラスで開催されたのは、イルミネーションと防災教室を掛け合わせたイベント「防災キャンドルナイト」です。足元に1000個のLEDランタンが灯る中、ジャズライブや、消防署職員による災害への備えに関するトークがあり、家族連れや若い人たちでにぎわいました。主催したのは、八木山地区の町内会や学校、大学、地区社協、警察・消防署、病院、企業など46の団体からなる仙台八木山防災連絡会(以下、連絡会)です。2008年の発足以降、あらゆる世代の住民同士が、災害時だけでなく普段から協力し合える関係づくりを目指し、防災訓練やシンポジウムなどを盛んに行ってきました。しかし、これまで地域に関わってきた世代の大半は高齢者や小中学生。20~30代の参加がほとんどなかったため、若者にも楽しみながら地域の防災活動に参加してもらおうと、防災キャンドルナイトを企画しました。八木山中学校や仙台城南高等学校の生徒たちはランタンを並べ、東北工業大学の学生たちはライブのステージとして使う



ウッドデッキを製作。会場に隣接する仙台赤十字病院は、電源や駐車場の提供と、来場者への手消毒など感染



予防対策を担いました。長年地域活動に携わってきた、八木山連合町内会会長の廣瀬博さんは「幅広い世代が集まることで新しい発想が生まれ、地域が活気づく。今後自分たちのまちをみんなで安心して暮らせる場所にしたい」と意気込みます。

若者にも参加してもらえぬ地域活動を目指して

防災キャンドルナイトに向けて具体的に動き出すきっかけとなったのが、2019年10月に発生した台風19号でした。高台にある八木山地区は、土砂崩れが心配な一部地域を除き、在宅避難が推奨されていましたが、多くの若者が避難所に殺到。連絡会が発信してきた防災情報が、若者に届いていない現状が浮き彫りになりました。さらに、避難所を運営するメンバーに若者がおらず、ほとんどが高齢者だったことから、地域と若者の関係性の薄さが見て取れました。

防災キャンドルナイトで特に呼びかけたのは、「避難」=「避難所に行くこと」ではなく、安全が確保できるなら自宅で過ごすのも、知り合いの家やホテルに行くのも「避難」になること。来場者に配った非常食ガイドブックや、非常用トイレなどにも情報を記載しました。八木山に合った防災情報をイラスト入り動画にして発信している谷口和也さんは、「大切なのは避難所自体よりも在宅避難の備えや、住民同士の助け合い。イベントを通じて地域の防災について知ってもらい、協力する人が増えてくれたら」と話します。



八木山市民センター館長
おの ひろし
小野 博さん



八木山連合町内会会長
ひろせ ひろし
廣瀬 博さん



八木山地区防災協会会長
たにぐち かずや
谷口 和也さん

楽しむことで、人や地域が活気づいていく

八木山イルミネーション・アート・プロジェクト全体としては、ダンスやコーラスなど様々なサークル活動の発表の場にもなりました。地域のサークル活動を見守ってきた八木山市民センター館長の小野博さんは、「地元で沢山の人の目にもらえることで、今まで個別に行われてきたサークル活動の門戸が、より地域へ開かれるようになった。発表する人のやりがいにもつながっている」と喜びます。

また、回を重ねるごとにランタンの設置・撤収や、SNSの情報拡散に加わる人が増加しました。防災キャンドルナイトの際も、来場者にランタン撤収を手伝ってもらったところ、子どもから大人まで多くの人が加わり、広場一面のランタンをあっという間に回収。気軽にできることから、これまで地域イベントを眺めているだけだった人の意識も「お手伝いならやってみよう」と変



▲80代メンバーも活躍するフラダンスサークルの発表

化し、より自分たちのイベントとして親しまれています。

八木山イルミネーション・アート・プロジェクトは2022年も継続中。防災キャンドルナイトは5月、10月に開催予定です。今後も、各々ができることで協力し合える地域の土壌を、楽しみながら次世代へつないでいきます。



▲楽しみながらランタンを並べる子どもたち

仙台八木山防災連絡会

HP ▶



八木山連合町内会、八木山南連合町内会、八木山市民センター、東北工業大学、仙台城南高等学校、仙台西高等学校、八木山地区小中学校およびPTA、八木山派出所、太白消防署八木山出張所、八木山動物公園フジサキの杜、八木山ベニールランド、東北放送株式会社、仙台赤十字病院をはじめとする各病院、八木山地区社会福祉協議会、八木山南地区社会福祉協議会、八木山地区民生委員児童委員協議会ほか46団体



活動を始める一歩を応援します。

贈り物を買うことで、作り手に応援という「ギフト」を届けよう

仙台市民の憩いの場のひとつ錦町公園。その斜め向かいにある小さなお店、「小物と焼菓子のお店 エフブンノイチ」は、主に県内の障害者福祉施設の商品を取り扱うアンテナショップです。仙台市内の障害者就労支援施設と障害者支援団体が協働で運営しています。店内にはマスコットやアクセサリ、食器、クッキー、おせんべい、ドリップコーヒーなど、障がいのある人が作った雑貨やお菓子が並んでいます。バレンタインデーやホワイトデー、進学、就職など春の新生活に向けてのお祝い、日頃の感謝とねぎらいなど、想いを込めた贈り物にぴったりの品物たちです。エフブンノイチで買い物をする事は、福祉施設の応援にもつながります。あなたの想いを込めた素敵なギフトを探しませんか。



小物と焼菓子のお店 エフブンノイチ

仙台市青葉区錦町1-3-3(錦町まるふく商店2階) 営業時間 11:00~15:30 店休日 土・日・祝日

HP ▶



つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 2月9日(水)、24日(木)

開館時間 月曜日～土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



「ばれっと」は、市民ライターと協働で制作しています。ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者: 特定非営利活動法人 せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2022年2月1日

デザイン PEACE Inc.

[Twitter]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

